

目指す学校像（ミッション）	創造力や発信力など豊かな力を有し、将来さまざまな分野のリーダーとして活躍し、社会に貢献できる人材を育成する学校
本年度の重点目標	①創造型、発信型の児童生徒の育成という教育理念の徹底 ②子ども主体の学校の実現と、子どもたちの学び合いを支える学習・生活指導の確立

学校自己評価							学校関係者評価（H23・5・28） （保護者代表4名・学校代表2名）
評価項目	年度当初		中間評価（10月）	最終評価（3月）			意見・要望・評価等
	現状	具体的な方策	経過・進捗状況	経過・達成状況等	達成度	次年度の課題	
1 よりよい授業を目指す授業改善の取組み 授業改善	○教え込み型・講義型学習が中心の授業からの転換がまだ十分に進んでいない。	○授業改善に向けて、学び合いの学習活動を積極的に取り入れる。 ○学校全体で、子ども主体のわかる・考える授業等に向けての研究を進める。	○グループでの学習活動の機会が増加した。 ○教職員の多角的な研修活動の機会が増え、相互に研鑽し合う試みが進められた。	○子ども主体の学習の実現を目指して取組みが進んでいる。 【P】 ○講義型授業からの転換に努めたが、まだ十分でない状況にある。 【S】	C+	○習熟度別クラスの良さを生かした教科学習活動に取り組む。 【P】 ○講義型授業からの一層の転換と、生徒による活動の推進。 【S】	若い先生が多く活気があって良い半面、教員主体の講義型授業からの転換がまだ不十分である。教員間の研修を進めると共に、総合部全体で統一した、継続的な指導を期待したい。
2 異学年齢のよさを生かしたチームの運営 チームの充実	○異学年齢での活動時間は増えたが、まだその機会を十分に生かしきれていない。	○チームでの取組みを多く交換し、具体的な場面や方策を現実化していく。 ○チームのよさを生かした活動をより多く取り入れる。	○チームの活動を意図的に多く設定し、異学年齢のよさが発揮できるように工夫した。	○行事や道徳・表現等のチームでの活動が一層深まった。 【P】 ○3学期からチーム主体の活動の積極化に取り組み始めた。 【S】	A C	○チームの個性をいかした個性的・独創的なチーム活動の推進 【P】 ○委員会等とチームがリンクした学校活動の確立に取り組む。 【S】	Pは一定の成果を上げているので、Sでも異学年の活動をもっと増やし、Pでの経験を活かして、さらに高いレベルでの学びや活動に結び付けるような環境作りや指導をお願いしたい。
3 子どもたちが主体的に生活する学校生活の実現 生き方の確立	○自分と考え方が違う相手に、配慮を欠く自己本位な行動が、時折見られる。	○生徒理解を十分に生かした児童生徒支援を推進する。 ○子どもたちへのわかりやすい授業の展開や、楽しい生活空間づくりの方策を、教員間で交換し、実践化していく。	○チームでの活動を通じて、道徳的な観点での活動機会を増やした。 ○各教員それぞれが担当する分掌にて、具体的によりよい生き方の指導を展開した。	○役割分担を果たすことで自己の存在意義を実感できる体験の場が多く設定されている。 【P】 ○小学校5・6年生の子どもたちに対応する適切な指導・支援が、まだ不十分である。 【S】	B C	○児童の発達段階に応じた道徳活動と、異学年齢活動を通じた思いやりの心を育てる取り組み。 【P】 ○異学年のチームをいかした具体的な取り組みと、授業規律の確立。 【S】	いろいろな取り組みを少しずつ行っていることは評価できるが、子ども達の主体性を大切にして、継続してやり遂げるよう指導を。異学年であるが故に気がつかない事もあると思うので、立場の違いや、自分との違いを認める・認め合うという、社会として当たり前のことの指導も必要。
4 子どもたちが主体的に運営する学校行事の実現 主体的な活動	○子どもたちが主体的に行事を作り上げていく段階にまだ至っていない。	○行事を作り上げる喜びや成功の体験等を、より多くの子どもたちに経験させていく場を設定していく。	○子ども主体の、子どもと共に作り上げていく場面が随所に見られた。	○委員会活動を通じ学校生活が活性化した。 【P】 ○主体的な活動場面が、多くの集団で見られるが、まだ全体には広がっていない。 【S】	A C	○子どもを主体とした学校活動への一層の推進。 【P】 ○チーム活動をベースとする学校活動の運営を推進する。 【S】	開智らしさが現れ、生き活きと頑張っているが、全般的に行事等の準備にかかる時間が少なく、結果として中心になる児童生徒に限られる印象がある。もっと教員と一緒に動いて、より多くの児童・生徒にリーダーとしての経験をさせてはどうかと思う。

- ◆ 達成度 A：ほぼ達成（8割以上） B：概ね達成（6割以上） C：変化の兆し（4割以上） D：不十分（4割未満）
- ◆ **【P】**とは：プライマリー課程（小学校1年生～4年生） **【S】**とは：セカンダリー課程（小学校5年生～中学校2年生）